

# 京芸通信

KYOGEI TSUSHIN

VOL. 33

京都市立芸術大学 広報誌 第33号  
令和6年7月

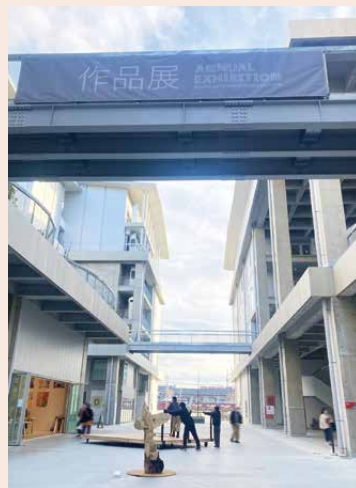






京都芸大の最近の活動や  
主な話題をご紹介します

# KYOGEI 京芸トピックス TOPICS



## 新キャンパスで初めての作品展 京都市立芸術大学作品展2023を開催

2024年2月7日から11日まで、本学キャンパスにおいて、2023年度の作品展を開催しました。

本学の作品展は、卒業・修了年の学生だけでなく、全学年が作品を展示します。毎年作品を作り上げ、搬入・陳列・搬出まですべて学生自らが行います。学部生にとって、卒業までの4回の作品展への参加は、発表の現場での緊張感と経験値を得るためにも非常に貴重な機会です。



作品展会期中、受験生を対象としたギャラリートークを開催。三橋卓講師が司会を務め、美術学部の11の専攻の学生と指導担当教員が作品について解説しました。



## 2023年度卒業の 成績優秀者による演奏会 第53回 卒業演奏会を開催

2024年3月20日、本学堀場信吉記念ホールにおいて、2023年度の音楽学部各専攻の成績優秀者による卒業演奏会を開催しました。



4年間の成果を、独奏・独唱・作曲作品で披露。未来へ羽ばたく学生たちの演奏をお届けしました。





村上華岳《二月の頃》明治44年(1911)



土田麦僊《髪》明治44年(1911)



展示風景



岡本神草《口紅》大正7年(1918)



### 新キャンパスで始動した芸術資料館で 「京都芸大〈はじめて〉物語」開催中!

2024年4月6日から6月2日まで、移転記念特別展「京都芸大〈はじめて〉物語」の第1期「カイセン始動ス! -京都市立絵画専門学校に集いし若き才能-」を開催しました。本展は第4期まで続き、144年の歴史の中で生み出されてきた数々の〈はじめて〉を芸術資料館収蔵品を中心にご紹介していきます。どうぞお楽しみに!



本学向けオリジナルフォントが誕生!

### Hiragino Kyogei Terrace

キャンパス構内に設置したサインに株式会社SCREENホールディングス様の「ヒラギノフォント」及び本学向けに制作されたオリジナルフォント「Hiragino Kyogei Terrace」を採用するとともに、同社に建物の立体サインを制作いただきました。また、本学の教育研究に活用するためにヒラギノフォントのポリウムライセンス製品を無償でご提供いただきました。今後、本学の活動を発信するさまざまな機会で使用していく予定です。



テラスのような大学・京都芸大

オリジナルフォント「Hiragino Kyogei Terrace」は、キャンパス移転を記念したロゴマークをはじめ、ウェブサイトや広報物、構内各所で使用されます。(制作/株式会社SCREENグラフィックソリューションズ)

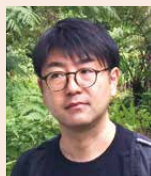
感謝状の贈呈式にて(2024年5月7日・本学)。多数の報道陣が集まる中、赤松玉女理事長から垣内永次取締役会長に対し感謝状を贈呈しました。また、同社のグループ会社である株式会社SCREENグラフィックソリューションズの正木洋介様から、新たに制作されたパリアブルフォント「Hiragino Kyogei Terrace」についてご説明いただくとともに、デザイン科の舟越一郎教授から、ご提供いただいたフォントの教育研究への活用について述べられました。



### 2024年度 新任教員のご紹介



谷津紗和子 准教授  
油画専攻



田中 功起 准教授  
構想設計専攻



長谷川江利子 准教授  
総合デザイン専攻



上田 順平 准教授  
陶磁器専攻



西條 茜 講師  
陶磁器専攻



上森 祥平 准教授  
弦楽専攻



加瀬 孝宏 准教授  
管・打楽専攻



これからご覧いただける  
本学主催イベント

\*本学芸術資料館およびギャラリー@KCUAは入場無料です。また、月曜日および展示期間以外は休館しています(月曜日が祝日の場合は翌平日休館)。  
\*事前申込の方法やチケット販売など詳細情報については、各イベントのフライヤーや本学ウェブサイトをご確認ください。

EXHIBITIONS

移転記念特別展「京都芸大(はじめて)物語」

- 〈第2期〉「日本最初京都画学校」- 京都御苑からの出発 -  
2024年6月15日(土) ~ 8月12日(月・振休)
- 〈第3期〉道を拓きしものたち - 知られざる先駆者 -  
2024年9月21日(土) ~ 11月24日(日)
- 〈第4期〉Road to GEIDAI(芸大) - 美術学部改革と新しい教育をめぐる -  
2024年12月7日(土) ~ 2025年2月11日(火・祝)

会場 | 京都市立芸術大学 芸術資料館

平野 愛 写真展「moving days in KCUA」  
むらたちひろ「記憶の巡り」

会期 | 2024年6月29日(土) ~ 8月4日(日)  
会場 | 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

@KCUA特別展「学術と芸術実践: 芸術研究の新たな可能性を拓く」

会期 | 2024年8月24日(土) ~ 10月14日(月・祝)  
会場 | 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

アーツスペースk.kaneshiro 第3回企画展

「源平合戦図屏風 - 其の言 いさ参らん、一の谷の戦いへ!」

会期 | 2024年6月15日(土) ~ 11月17日(日)  
会場 | 京都市立芸術大学 アーツスペースk.kaneshiro

UNIVERSITY EVENTS

京都芸大の美術・音楽教育を、新キャンパスで体感しよう!

オープンキャンパス (進学希望者および保護者・教員対象)

- 美術学部 8月4日(日) オープンキャンパス(会場: 本学キャンパス)
- 音楽学部 9月28日(土) WEB上での専攻別ガイダンス  
10月5日(土) オープンキャンパス(会場: 本学キャンパス)

開催内容やお申し込み方法については本学ウェブサイトでお知らせいたします。\*天候不良やその他の都合等により内容を変更・中止する可能性があります。その場合も本学ウェブサイトでお知らせいたします。

今年のテーマは「イドバタ大会議」

京都市立芸術大学 芸大祭2024

会期 | 2024年11月1日(金) ~ 3日(日・祝)  
会場 | 京都市立芸術大学

CONCERTS

大嶋義実教授 退任記念スペシャルコンサート  
オーシマセンセイと素敵な仲間たち

日時 | 2024年8月14日(水) 14時開演  
会場 | 京都市立芸術大学 堀場信吉記念ホール  
入場料 | 2,000円

小濱妙美教授 退任記念演奏会

オペラティック・コンサート「TOSCA」

日時 | 2024年9月1日(日) 14時開演  
会場 | 京都市立芸術大学 堀場信吉記念ホール  
入場料 | 3,500円

選ばれた学生ソリストたちと管弦楽の協演!

オーケストラ協演の夕べ

日時 | 2024年10月6日(日) 16時開演(予定)  
会場 | 京都市立芸術大学 堀場信吉記念ホール  
入場料 | 2,000円

吹奏楽の新たな演奏会 オータムウインズフェスト

日時 | 2024年11月13日(水) 開演時間未定  
会場 | 京都市立芸術大学 堀場信吉記念ホール  
入場料 | 1,000円(予定)

作曲専攻生による楽曲作品発表

京国国立近代美術館 ホワイコンサート2

日時 | 2024年11月16日(土) 16時30分開演  
会場 | 京国国立近代美術館 ホワイエ  
入場料 | 無料

弦楽専攻生によるアンサンブル ウェスティ音暦2

日時 | 2024年11月30日(土) 14時開演  
会場 | 京都市西文化会館ウエスティ  
入場料 | 無料

第175回 定期演奏会

日時 | 2024年12月10日(火) 19時開演(予定)  
会場 | 京都コンサートホール 大ホール  
入場料 | 2,000円(予定)

移転整備募金へのご支援 誠にありがとうございました!

1880(明治13)年設立の「京都府画学校」を起源とする日本で最も長い歴史を持つ芸術系の大学である本学は、2023(令和5)年10月に京都駅東部エリアに全面移転し、新キャンパスにて大学運営をスタートいたしました。

キャンパス移転に向け、2020(令和3)年12月に移転整備募金を開始し、移転に伴い必要となる教育研究のための機器や楽器の購入などに充てるため、皆様からのご支援をお願いしてまいりました。

1,000件を超える個人・法人の方々からご支援を賜った結果、目標額15億円を達成し、2024(令和6)年3月末日をもちまして募金活動を終了させていただきました。

頂戴したご寄付については、教育研究環境充実のため有効に活用させていただいております。ご協力いただいた皆様のご厚誼に心より御礼申し上げます。



表紙の写真

2024年5月3日、本学の移転記念事業として、堀場信吉記念ホールにおいて「祝賀能(翁)付(高砂)」を上演し、多くのお客様にご来場いただきました。本学客員教授の金剛龍謹氏(表紙/写真左)、本学音楽学部非常勤講師の金剛龍謹氏ほか総勢40名により、祝賀には欠かせない能楽の「翁」「高砂」を、江戸時代に幕府、宮中そして本願寺でのみ行われていた演出「風流」「開口」付きで上演しました。特殊演出の中では、「下京」「崇仁」「京都市立芸術大学」などの名前が祝賀にふさわしく唱えられ、本学の未来が寿がれました。また、「松竹風流」に登場する「松の精」と「竹の精」の冠り物(写真右)は、美術学部の学生有志が今回のために新たに制作したものが使用されました。

